



チックシベツ

教育目標
たくましい身体の子
ねばり強く働く子ども
進んで学ぶ子ども
美しく豊かな思いやりのある子ども

秩父別小学校だより 7月号（平成29年7月7日） 【発行責任者 成田将人】

笑顔に勝るものなし！！



先月、久しぶりに北海道に帰ってきた息子と話をしました。

「世の中は、大部分が悪い人なんだよね・・・」

突然切り出された話に、どのように答えていいのかも分からず、ひとまず「もう少し、詳しく教えてくれないか。」と話を聞いてみることにしました。

どうやら、特別なことがあったわけではなく、これまでの大学生活の中で、そう感じたようです。一人で東京に行き、様々な人と出会い、人とのかかわりを学んできた中での発言です。

ただ、その中に、いい人が少数だがいる（息子の確率だと1%）その人たちに出会ったらその人のためになることを全力でしてあげたいと言っていました。

（世の中、そんなに悪い人ばかりではないぞ・・・）

昔は、手塚治虫さんの言葉（右）のように、我慢させられることが多かったように思います。

今の子供たちは、学校でも私たち大人に守られて、危ないことや苦しいことは、「させない」ことが増えているような気がします。

しかし、一步社会に出ると、「我慢」の連続ですよ。仕事や人間関係・・・生き抜いていくためにつけなければならない一番大事な力は、「我慢」なのかもしれません。（昨年度3月①号参照）

数えきれないほど、
悔しい思いをしてきたけれど
その度にお袋の
「我慢しなさい」って言葉を
思い浮かべて、
なんとか笑ってきたんです。

- 手塚治虫

思えば私も、働き始めてから何度も悔しい思いをしてきました。

その度に、大好きな子供たちの笑顔や言葉に、助けられてきました。

子供たちの笑顔を見ていると、大抵の困難なら乗り越えられてしまうのです。

ですから、秩父別小学校も「笑顔（と感動）あふれる学校」にしたいと思っています。

朝の挨拶では、子供の笑顔を独り占めできます。私の最も幸せなひと時です。

